

島根原子力発電所の運転状況（平成20年8月分）

中国電力担当分

【1号機】：平成20年8月は、全期間原子炉定格熱出力一定運転を行った。

【2号機】：平成20年8月3日及び26日制御棒分布変更。それ以外の期間は原子炉定格熱出力一定運転を行った。

1 運転保守状況（中電データ）

号機	炉型	定格電気出力	営業運転開始日	8月の設備利用率(%)	8月の発電電力量(万kWh)	9月19日の状況	備考
1号機	BWR	46万kW	S49.3.29	100.7	34,448	運転中 (H20.4.20～)	
2号機	BWR	82万kW	H1.2.10	97.6	59,538	計画停止中 (H20.9.7～)  第15回 定期検査中	9/7、原子炉停止操作中の3時46分に、中間領域検出器1チャンネル15の指示が瞬間的に上昇し、「B-自動スクラム2」の警報が発生。なお、他の中性子検出器に変化はない。原因は調査中（中国電力株公表済み） 1 中間領域検出器 原子炉内の中性子を測る装置の一種で、原子炉の起動および停止時の中性子の量を監視するもの。 2 自動スクラム 原子炉の緊急停止をいい「B-自動スクラム」は、原子炉を緊急停止するための、A・B2つの信号のうち、1つだけが発生した状態。スクラム信号はA・Bが同時に発生することで制御棒を全挿入し、原子炉を緊急停止させる。

2 安全協定第9条で規定するLCO逸脱事象（8月21日～9月19日）  
別紙のとおり

3 安全協定第10条で規定する異常事象（8月21日～9月19日）  
該当なし

4 放射性固体廃棄物管理状況（中電データ）

	8月末現在			
	8月末保管量（前月比増減量）	8月発生量	8月処理量 <sup>2</sup>	前月末保管量
ドラム缶保管量（本）	22,810（51）	131	182	22,861
その他の種類の保管量（本相当）	4,823（39）	0	39	4,862
合計	27,633（90） <sup>1</sup>	131	221	27,723

1 保管能力：35,500本  
2 処理方法：ドラム缶減容処理  
焼却処理

5 使用済燃料貯蔵状況（中電データ） 8月末現在（単位：体）

	8月末現在		
	1号機	2号機	合計
燃料プール貯蔵量	360	1,708	2,068
貯蔵容量	1,140	3,518	4,658
管理容量	660	2,818	3,478

管理容量 = 全容量 - (1炉心分<sup>1</sup> + 1取替分<sup>2</sup>)  
1：1号機400体 2号機560体  
2：1号機約80体 2号機約140体

島根県担当分

6 放射性廃棄物の放出状況（中電データ）

今月までの放出実績は年間放出管理目標値等を下回っている。

（単位：Bq）

	放射性液体廃棄物(8月)		放射性気体廃棄物(8月)		放射性気体廃棄物(4～6月)			
	トリチウムを除く	トリチウム	放射性希ガス	放射性碘素(I-131)	トリチウム(4月)	トリチウム(5月)	トリチウム(6月)	全粒子状物質(4～6月)
原子炉施設合計 (今年度累計)	ND <sup>1</sup> (ND)	2.3 × 10 <sup>10</sup> (1.2 × 10 <sup>11</sup> )	ND <sup>2</sup> (ND)	ND <sup>3</sup> (ND)	1.7 × 10 <sup>10</sup>	1.9 × 10 <sup>10</sup>	2.3 × 10 <sup>10</sup>	ND <sup>4</sup>
号機別 内 訳								
1号機	ND <sup>1</sup>	4.1 × 10 <sup>9</sup>	ND <sup>2</sup>	ND <sup>3</sup>	5.8 × 10 <sup>9</sup>	6.5 × 10 <sup>9</sup>	8.1 × 10 <sup>9</sup>	ND <sup>4</sup>
2号機	ND <sup>1</sup>	1.9 × 10 <sup>10</sup>	ND <sup>2</sup>	ND <sup>3</sup>	1.1 × 10 <sup>10</sup>	1.3 × 10 <sup>10</sup>	1.5 × 10 <sup>10</sup>	ND <sup>4</sup>
年間放出管理目標値	7.4 × 10 <sup>10</sup>	7.4 × 10 <sup>12</sup> <sup>5</sup>	8.4 × 10 <sup>14</sup>	4.3 × 10 <sup>10</sup>	-	-	-	-
サイトバンカ建物	-	-	-	ND <sup>3</sup>	2.1 × 10 <sup>8</sup>	2.7 × 10 <sup>8</sup>	4.0 × 10 <sup>8</sup>	ND <sup>4</sup>

1～4：検出限界値（1：約2 × 10<sup>2</sup> Bq/cm<sup>3</sup>以下（<sup>60</sup>Co代表）、2：約2 × 10<sup>2</sup> Bq/cm<sup>3</sup>以下、3：約7 × 10<sup>9</sup> Bq/cm<sup>3</sup>以下、4：約4 × 10<sup>9</sup> Bq/cm<sup>3</sup>以下（<sup>60</sup>Co代表））

5：年間放出管理の基準値を示す

（排気筒モニタ値及び放水路水モニタ値）

（単位：cps）

		8月分			先月の実績			安全協定で定める 通報基準値
		最小	平均	最大	最小	平均	最大	
排気筒モニタ	1号機	5.2	6.0	6.9	5.2	6.0	7.0	500 <sup>6</sup> (1,000 <sup>7</sup> )
	2号機	2.8	3.3	3.9	2.8	3.3	3.8	500 <sup>6</sup> (1,000 <sup>7</sup> )
放水路水モニタ	1号機	2.3	2.7	3.8	2.3	2.6	3.3	7 <sup>6</sup> (70 <sup>7</sup> )
	2号機	3.7	4.3	5.1	3.6	4.2	4.8	8 <sup>6</sup> (80 <sup>7</sup> )

6：この状態が10時間続くととき  
7：この状態になったとき

7 モニタリングポストの測定結果（敷地境界モニタリングポスト及び環境放射線情報システム）（中電データ、県データ）

（単位：nGy/h）

	敷地境界モニタリングポスト（中電管理分）							環境放射線情報システム（県管理分）										
								西浜佐陀	御津	古浦	深田北	片岡	北講武	佐陀本郷	末次	大芦	上講武	手結
平均値	22	25	32	23	29	27	平均値	54	42	41	29	44	37	31	35	36	39	43
最高値	42	40	49	40	53	50	最高値	89	61	56	48	64	52	49	58	65	57	63
月平均の変動幅	19～23	23～27	30～34	21～25	28～31	26～29	平常の変動幅(上限)	87	71	68	56	68	64	64	57	73	68	73
過去の最大値	82	79	115	105	130	100	前年度までの最大値	164	129	105	106	112	114	118	192	127	100	111

平常の変動範囲(上限)を超えた値は、降水の影響と推定される。

上講武は平成19年8月より移設したため、参考値

（参考）定例プレスでは掲載しない情報の例示

（1）環境放射線及び温排水測定結果・・・「環境放射線等調査結果報告書」（四半期報）で公表する。

（2）地震発生時の発電所の状況連絡・・・震度3以上の地震が発生した場合、中国電力から各報道機関へ直ちに連絡することとなっている。

担当：島根県 総務部 消防防災課 原子力安全対策室  
電話 0852-22-5278 FAX 0852-22-5930  
中国電力（株）島根原子力本部 広報部  
電話 0852-82-9093 FAX 0852-82-3514